



2016年
5月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

五月晴れの中、若葉が目にしみる季節となりました。しかしながら4月下旬に「熊本地震」にあわれた方々、又関係者の皆様におかれましては、いかばかりかとお見舞い申し上げます。

10日ほど前からボランティアの受入れ体制が整い、4月25日までの間に1700名程の方々が、全国から集結くださっていると報道がありました。

老若男女、特に若い方の姿が目立ち嬉しく思いました。

しかし被災者の「何をしてほしい」が集約できていず、9:00から始まった受付が20分間で受付終了との現状。

とりわけ、障害のある方々をサポートする人材の不足から、大学と連携して昼夜問わずの支援を行い、1週間寝ずの対応に「思考が停止する」くらい疲労が蓄積しているとの声もありました。

日本はいつ、どこで地震が起きてもおかしくない列島です。そんな中、若い世代の方々によるボランティアの参加は、自分の事のように人の気持ちが分かり、その思いを実行するパワー。そんな次代を背負う若者達に心強さを感じます。

保育園で過ごす子ども達も、乳幼児期から、周りの大人たちに気持ちを受け入れられたり、共感してもらい、そんなたくさんの体験を土台に、周りの友達にも自分と同じ気持ちや違う気持ちがある事に気づいたり、共感したり、受け入れたり調整したりしていける子に育って欲しいと願っています。



お誕生日おめでとう

1才おめでとう	せいたくん りんこちゃん
2才おめでとう	みゆちゃん
3才おめでとう	げんきくん こうきくん りつきくん さゆりちゃん あおぼくん
4才おめでとう	りかちゃん
5才おめでとう	あおいちゃん まゆちゃん
6才おめでとう	けんしんくん こてつくん えいきくん

5月の予定		
1	日	
2	月	
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	ちゅっちゅこっこの会★
10	火	0才児健診・乳児内科健診
11	水	図書館(5才児)
12	木	遠足(4才児) 料理保育(5才児)
13	金	防災訓練
14	土	離乳食試食会
15	日	171災害伝言板
16	月	ちゅっちゅこっこの会★発達相談の日★
17	火	
18	水	照子おばちゃんのお話会
19	木	防犯訓練
20	金	幼児誕生会★食事会
21	土	
22	日	
23	月	ちゅっちゅこっこの会★なかよし広場★ 乳児誕生会★
24	火	0才児健診・幼児内科健診
25	水	
26	木	「スマイルの会」激励会
27	金	「スマイルの会」(お泊り保育)(仮)
28	土	「スマイルの会」(お泊り保育)
29	日	
30	月	ちゅっちゅこっこの会★ 「スマイルの会」報告会(仮)
31	火	

★印の日は、どなたでもご自由に参加いただけます
(予定は変更になる場合があります)

りすぐみです こんにちは

りす組になり、早くも1ヶ月が経ちました。4月当初は、りす組の名札をお家の人に見せて、お兄さんお姉さんになったことに嬉しさを感じている子ども達でした。

1階は、広い園庭がすぐ近くにあるため、日中に限らず、朝や夕方にもお庭に出て、おままごとや虫探しなどをしたくさん遊んでいます。特に、子ども達の好きな遊びはおおかみごっこで、職員がおおかみになったり、自分たちでもおおかみ役を決めて追いかけてごっこを楽しんでいます。

活動時間が多くなったことで、お腹が空くまで遊びこみ、食事が増し睡眠もぐっすり眠り、すくすくと成長している子どもたちです。

今後も、ひつじ組さん、ぞう組さんとお散歩に行ったり、体操を一緒にしながら交流を深めていくのが楽しみです。



こどものつぶやき

4月の中旬に雨の降り続く日がありました。子ども達は、外で遊びたいのになかなか雨が止まず観音扉から外の様子を眺めていました。

そんな中、

Aちゃん:「せんせい あめ よんだよ」

担任 :「Aちゃん 雨を呼べるの すごいね」

Aちゃん:「???」そしてもう一度

Aちゃん:「せんせい あめ よんだよ」

「こっちでいっしょにみようよ～」

のお誘いにAちゃんと観音扉からのぞいてみると雨が止んでいました・・・

「あめ やんだ」とAちゃんは、伝えていたのです。ちょっとした行き違いはありましたが、Aちゃんは満足そう・・・文字が一字違うだけで・・・言葉って面白いですね。

こいのぼり

お庭を泳いでいるこいのぼりを、2Fのベランダやお庭から眺めて喜んでいる乳児クラスの子供達・・・

”やねより～たかい～こいのぼり～”の歌に合わせて、風に泳ぐこいのぼりと一緒に身体を揺らして気持ちよさそうです。

2～5歳児クラスの子供達は、5月の端午の節句に向けて、「こいのぼり」を作りました。この時期には、毎年年齢にあわせた、可愛いこいのぼりが完成します。

子ども達も、自分で作ったこいのぼりには愛着があり、お迎えに来るお家の方に自慢げに見せている姿が又愛らしいです。一緒に愛でて、褒めてあげて下さいね。

鯉のようにすくすく大きく子ども達も育ってくれることを祈ります。



うさぎ組
シールを貼って
うろこを作りました



りす組

三角に切ったウロコは糊で貼ります



ひつじ組

曲線に沿ってハサミで切ります



ぞう組

画用紙を編みこんで模様を作りました

「ちゅっちゅこっこの会」ってなあに？

毎週(月)曜日にたえこおばちゃん(兼子耐子氏)に訪問していただき、子どもと職員そして地域の親子の方々と共に、「わらべ唄」を楽しみます。

「わらべ唄」はまだ庶民に文字が広まっていない時代に、人がよりよく生きるための知恵をわらべ唄に込め親から子へ、そして孫へと代々伝えられてきたものです。

コミュニケーションの第一歩である「目と目を合わせる」事ひとつをとっても、わらべ唄では必ず行っていることで、なくてはならない事です。

0才の時は肌と肌が触れ合う遊びで、ぬくもりを感じたり、安心感を与えたり、逆に身体をくすぐって神経を刺激します。成長に伴って、指の名称や体の部位を知ったり、二人組になって行う遊びでは、お互いの気持ちを感じ合い、調整することを知ったり、人との距離感を学ぶ機会になっています。

人との触れ合いを楽しみ、子ども達が生き生きと活動に参加出来る様、心がけています。

たかさごの教育(学びの芽) 第2回

ひよこ2組では、首が据わったお友達から寝ね期、寝返りからうつ伏せ、腹這いができたりと、個々に様々な成長の子ども達が過ごしています。この時期の子ども達は、視覚や聴覚等の感覚の発達が目覚しく、泣く・笑う等の表情の変化や体の動き、喃語などで、自分の要求を表現できるようになります。

保育園では、日々の生活の中で、発達に合わせ、様々な玩具(ガラガラ・歯固め・メリージム等)で遊びを誘い、なめたり、握ったり、触れたりして、沢山の感覚が刺激される様援助しています。これは大人と一緒に遊ぶことで、より興味を引き出し、握る、掴むなどの発達の促しにもつながっていきます。

様々な感覚を養うことは、外界への好奇心や関心を持つことにつながり、子どもの世界を広げていきます。この身体感覚は、人や物との関わりの中で培われていき、自発性を育てていきます。

これからも、人への安心感を育て、信頼関係を築きながら、より感覚や感情が培われていよう遊びを提供し、人と関わる心地よさを伝えていきたいと思ひます。